インターネットの下記サイトにて、セミナー案内及び出版案内が御覧頂けます。又、お申し込みも受け付けております。
http://www.tic-co.com/

★優れた化学的性質を持ち、広く使われているシアンだが、同時に強い毒性も持ち合わせ、適正な処理が求められている！！
★本セミナーでは、排水中シアンの形態・規制の見通しを始め、処理技術の比較・評価と状況に合った処理法の選定・コストダウンのポイント、又、アンモニア問題等、排水中シアンによって派生する諸問題の対応に至るまで、経験豊富な大西講師に実践的に解説頂きます。

シアン含有排水の効率的処理技術

●講　師　(株)アクアテック　代表取締役
㈲日本パーカライジング(株)環境開発部 課長
技術士（衛生工学部門）　大西 彬聰 氏

●日　時　2004年７月９日(金)　10:30～16:30

●会　場　東京・新お茶の水・総評会館・4F・404室
※急ぎのご連絡は(株)技術情報センター(TEL. 06-6358-0141)まで!!

●受講料　49,980円(１名に付き)
(テキスト代、昼食代、喫茶代、消費税分2,380円を含む)

◎プログラム◎

Ⅰ．排水中シアンの特性・形態と規制の見通し
　１．排水中シアンの特性
　　(1)化学的特性　(2)毒性
　２．排水中シアンの存在形態とその性状
　　(1)イオン結合による形態（シアン化カリ）
　　(2)共有結合による形態（アクニルニトリル）
　　(3)配位結合による形態（錯体シアン化合物）
　３．各種シアン含有排水におけるシアン濃度
　４．排水中シアンの規制と今後の見通し
　　（上乗せ規制も含めて）
Ⅱ．シアン含有排水の処理技術の特徴とその比較・評価
　～適応濃度、汚泥の発生量、経済性、課題も含めて～
　１．酸化分解法
　　(1)アルカリ分解法
　　(2)オゾン処理法
　　(3)オゾン＋紫外線処理法
　　(4)過酸化ニッケル処理法
　　(5)過酸化水素＋ホルマリン処理法
　　(6)電解法
　　(7)高温アルカリ塩素法
　２．不溶錯体法
　　(1)紺青法　(2)亜鉛白法　(3)還元銅塩法
　３．煮詰法
　　(1)煮詰高温燃焼法
　　(2)ドラムドライヤー法
　　(3)スプレードライヤー法
　４．熱水反応によるシアン分解および、微生物処理法
　　(1)熱加水分解＋微生物処理法
　　(2)湿式酸化法
　　(3)微生物処理法
Ⅲ．シアン含有排水における処理技術の選定と
　コストダウンの実際
　１．排水中シアンの濃度・形態に合わせた処理技術の
　　選定法
　　～排水量、水質、スペース、コストを含めて～
　２．排水中シアン対策ソリューションと
　　コストダウンのポイント
　　(1)高濃度シアン含有排水
　　(2)低濃度シアン含有排水
　　(3)遊離シアンおよび錯シアン含有排水
　　(4)鉄シアン錯体含有排水
　　(5)組み合わせ処理のポイント
　３．実際例
　　～鍍金工場排水、熱処理工場排水、化学工場排水、
　　金属製錬排水、その他～
Ⅳ．シアン処理周辺技術
　～排水中シアンによって派生する諸問題への対応～
　１．シアンと共存する金属イオンの処理技術
　　～新開発硫化物法～
　２．シアンより生成するアンモニア対策
　　(1)アンモニアストリッピング及び、燃焼分解
　　（NOxフリー触媒分解を含む）
　　(2)微生物によるアンモニアの硝化及び脱窒処理技術
　　(3)不連続塩素添加法
　３．シアンガス対策
　　(1)シアンガスの性質
　　(2)スクラバーによるシアンガス対策
　　(3)触媒分解法
Ⅴ．質疑応答

－名刺交換会－
セミナー終了後、ご希望の方はお残り頂き、参加者間での名刺交換会を実施させて頂きます。

主催　TIC　(株)技術情報センター　セミナー部
〒530-0043　大阪市北区天満2丁目8番18号　ツインカナエビル
TEL 0120-06-0140　FAX 06-6358-0134
ホームページ http://www.tic-co.com/